

いっぴき トピックス

芸術選奨文部科学大臣新人賞(音楽部門)受賞 クアルテット・インテグラ 三澤響果さん

詳細はこちら▶



【主な受賞歴】

- ・2015年 高校在学中に弦楽四重奏団クアルテット・インテグラを結成
- ・2018年 「第16回チェコ音楽コンクール」第1位
- ・2021年 「バルトーク国際コンクール」優勝
- ・2022年 「ミュンヘン国際音楽コンクール」第2位および聴衆賞受賞
- ・2025年 「ウィグモア・ホール国際弦楽四重奏コンクール」第3位入賞
- ・2026年 令和7年度(第76回)芸術選奨文部科学大臣新人賞(音楽部門)受賞、第38回ミュージック・ペンクラブ音楽賞受賞

多摩市立小・中学校卒業後、高校在学中から活動を始めた弦楽四重奏団「クアルテット・インテグラ」で第一バイオリンを担当され、令和7年度芸術選奨文部科学大臣新人賞(音楽部門)を受賞された三澤響果さん。世界各国で演奏を続けるご多忙の中、帰国に合わせて7月6日、多摩市長を表敬訪問されました。

●伊豆大島から多摩市へ

バイオリンは、生まれ育った伊豆大島にいた5歳のころ、アメリカから一時帰国した3歳年上のいとこの演奏を聴いたことがきっかけで始めました。「響果」と命名したご両親とも音楽が大好きで、お父様はギターを楽しみ、お母様は音楽大学でピアノや声楽を学ばれていました。バイオリンの専門的な教育を受けるため、お母様と響果さんは伊豆大島から毎週、船で都内(仙川)まで通っていましたが、大変だったため家族で多摩市に引っ越しました。

●椅子があればどこでも演奏できる

弦楽器は「椅子があればどこでも演奏できる」。場所を選ばずに自由に演奏できる強みがあると思います。病院や学校への訪問演奏もでき、他分野とのコラボレーションもできます。

●子どもたちに届けたい

近年、クアルテット・インテグラは新潟県十日町市で、アンサンブル・イン・レジデンス(音楽家や室内楽のグループが一定期間滞在して演奏や指導を行う事業)に参加し、十日町市内の小・中学校や施設などへの訪問演奏も行いました。また、母校でもある伊豆大島の小学校で、クアルテット・インテグラとして演奏(アウトリーチ)したこともあります。「アウトリーチは小さな子どもたちが先入観なくクラシックに触れて、より身近に感じてもらえる大切な機会だ」と思っています。多摩市の子どもたちにも音楽を届けたい、教えたいというアーティストとしての熱い思いが伝わってきました。

☎1020485 文化・生涯学習推進課 ☎(338) 6882



テレビ・映画で出会う街 多摩

目黒蓮さん主演で全国公開された大ヒット コミック原作の実写映画『SAKAMOTO DAYS』

ご覧になった市民の皆さんならお気づきのはず。壮絶なバトルシーンの前に「ココリア多摩センター」がドカーンと登場していましたね!

ロケは昨年5月、多摩センター駅前の「パルテノン大通り十字路」付近で行われました。当日の朝は多くのスタッフと数十人規模のエキストラが集まり、大きな人だかりに。しかし撮影が始まると、要所の誘導員が“流れを作る”ように動き、現場はスムーズに進行していました。

目黒蓮さん、高橋文哉さんは近くのテントで待機。その間、スタンドイン(リハーサル用代役)が立ち位置やカメラ位置を確認し、準備が整うとキャストと入れ替わって本番撮影。監督の「カット!」で映像を確認し、「OK」が出ればすぐ次のカットの準備に移ります。市民の皆さんのご協力もあり、撮影は大きな混乱もなく予定通り終了。純粋に“プロの現場ってすごいな”と感じた一日でした。



子育てを終えた50歳の主婦が、厳しいイケメン講師や個性豊かな仲間と出会い、「鮭アカデミー」で第二の人生を切り拓く王道の人生応援ドラマ!『時すでにおスシ!?』



14年ぶりに民放連続ドラマ主演の永作博美さんが、松山ケンイチさんと18年ぶりとは思えない息の合った共演ぶりを見せてくれます。

しかも、全10話中、5話に市内でロケされたシーンが登場しますので、多摩市民は必見! レンガ坂の他、多摩センター駅周辺遊歩道、多摩中央公園芝生広場、中央図書館...今回はこのうち、物語に何度も登場する『ウワサの「大江戸走り!!」ロケ撮影立ち会いレポート』を動画付きで、お届けします。

今年2月の某日、あのレンガ坂をはじめ「いろんな道を走る! 駆ける! 上る!! 登る!!!」をとにかくひたすら繰り返す撮影現場に立ち合わせていただきました。松山ケンイチさんも永作博美

たまロケーションサービス(通称「たまロケ」)は、市と協働で、ロケ誘致活動を行っています。

今回は、今年公開・放映されて話題となった映画・テレビドラマのロケ撮影支援現場レポートを、たまロケ撮影立ち会いメンバーの生の声・感想を交えてお届けします。

さんも、何度も全力で走るシーンに挑まれていて、その真剣な姿にプロとしてのすごさを間近で感じ、とても感動しました。

一方、撮影スタッフの皆さんは、カメラだけでなくカメラマンも乗ったりヤカーを複数人で何度も疾走させ、そのパワーと迫力に圧倒されました。同時に、こうした大変な撮影を支える姿にも心を奪われました。

これらの貴重なメイキング映像は、TBS公式YouTubeチャンネル「TBS公式YouTuboo (@tbspr)」をぜひご覧ください。



◀メイキング映像はこちら

たまロケーションサービス
 ☎(400)1706・☎(400)1707・✉office@tamaloc.com・
 🌐https://www.tamaloc.com/

